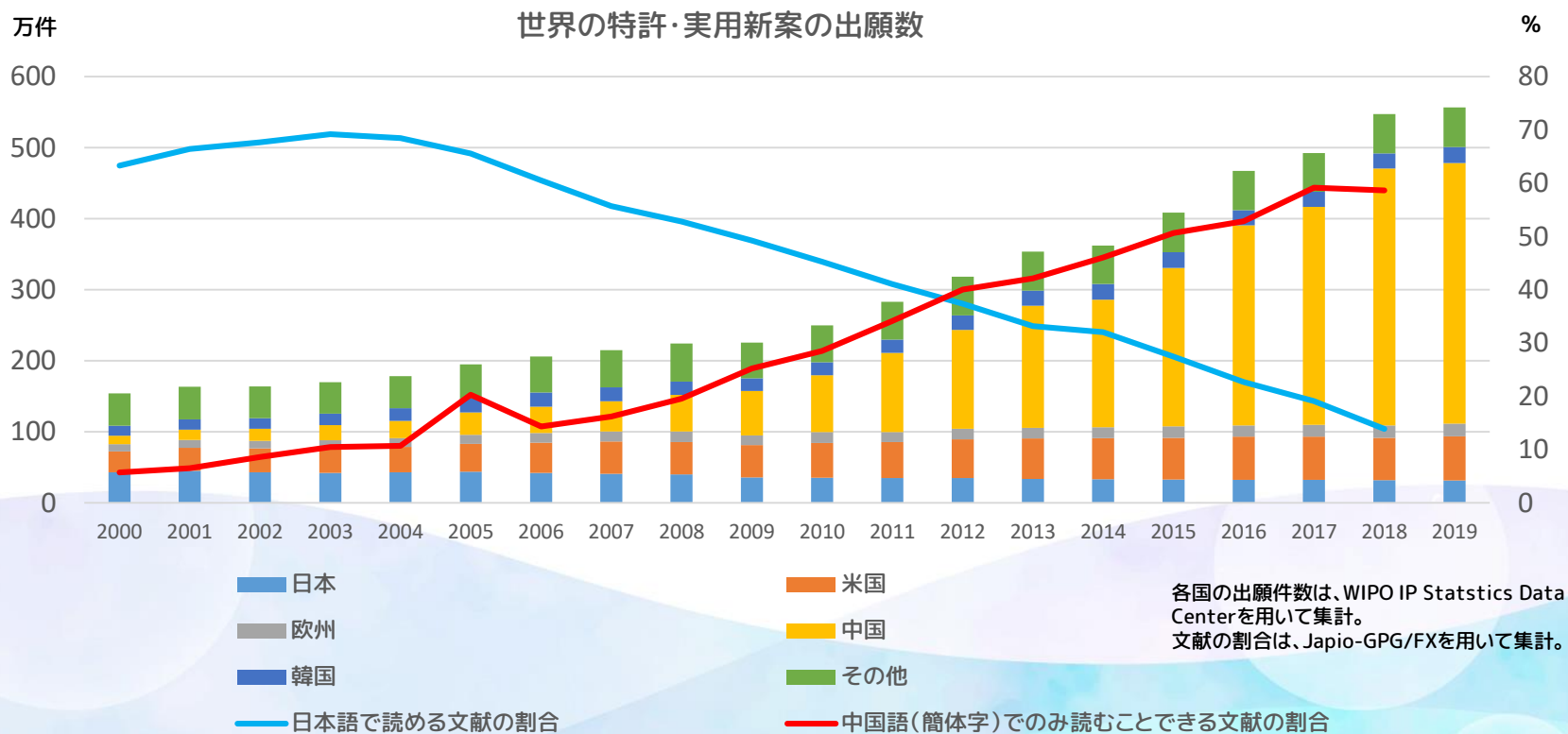


1. 世界の特許および実用新案の出願動向について

下の図は、2000年以降の世界の特許および実用新案の出願動向です。棒グラフは各国・地域の特許庁への出願件数を示しています。近年、外国特許庁への特許・実用新案の出願、特に中国特許庁への出願が急激に増加していることがわかります。なお、中国文献に日本語ファミリーが存在していたとしても、中国文献と全く同一の内容が書かれている保証はありませんので、文献の精読のためには中国文献の原文を読まなければなりません。

また、折れ線グラフは、Japio-GPG/FXの「ファミリー除外機能」を用いて集計した結果です。日本語で読める文献の割合は年々減少傾向にあり(青線)、また、中国語(簡体字)のみで読むことができる文献の割合が増加傾向にある(赤線)ことから、日本語のみ、又は、日本語・英語による文献読解では不十分といえます。

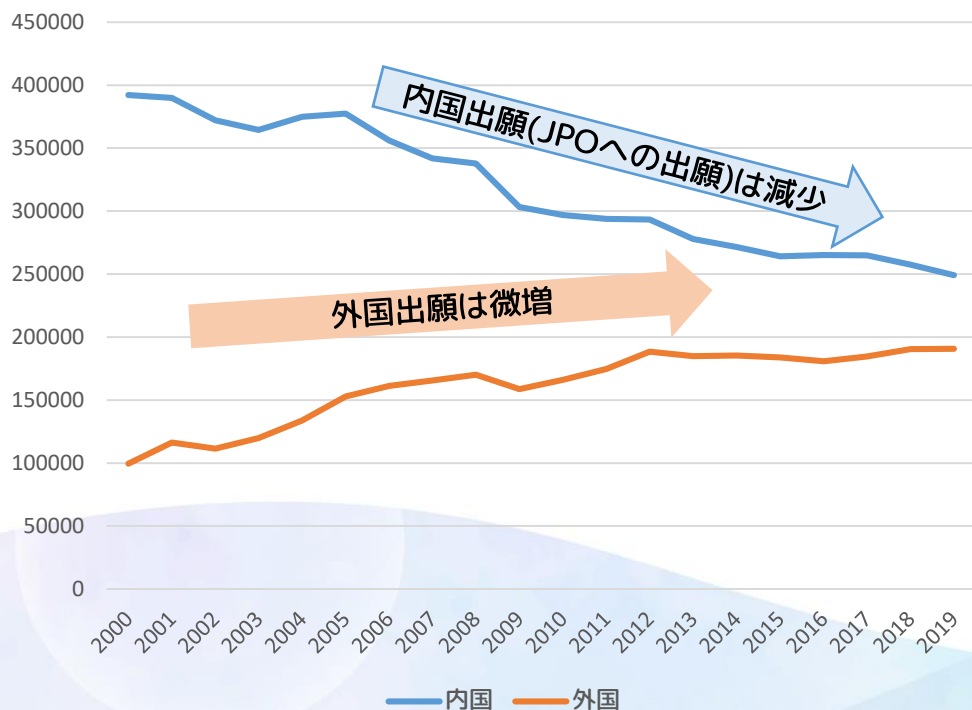


2. 日本国籍出願人の出願動向について

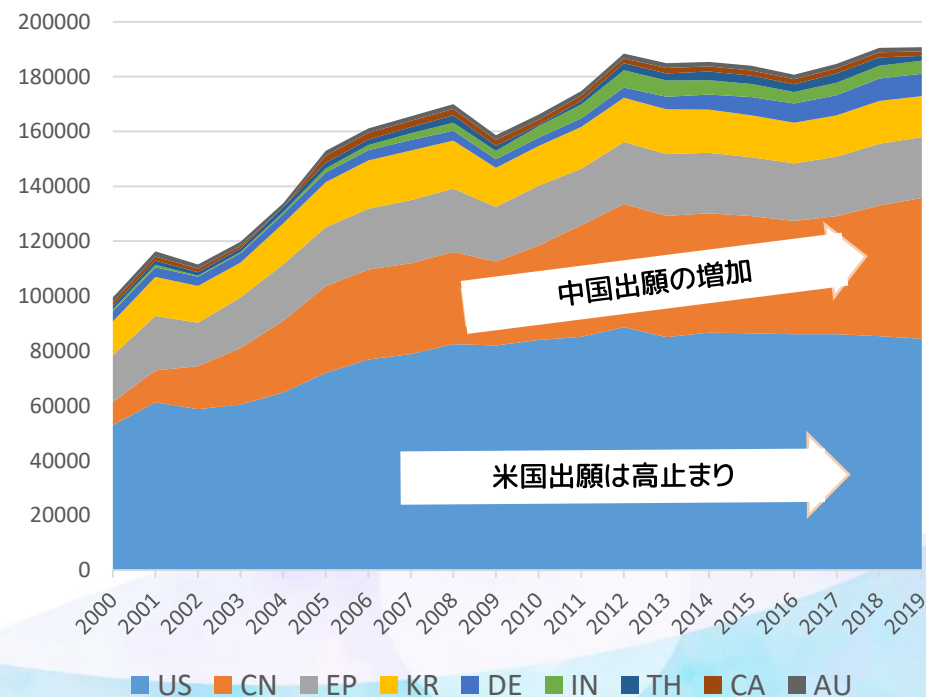
下の図は、日本国籍出願人による出願動向です。近年、日本国籍出願人は、国内出願（日本特許庁への出願）は減少傾向にある一方、外国出願は微増傾向にあります。その中でも、米国への出願が最も多く、次いで、中国、欧州、韓国の順で出願されています。

したがって、外国出願のためには、日本語明細書を英語・中国語・韓国語へ翻訳するニーズは高まっているといえます。

日本国籍出願人による特許・実用新案出願数
(内国・外国)



日本国籍出願人による特許・実用新案出願数
(外国出願の内訳)



3. 特許明細書の翻訳料金について

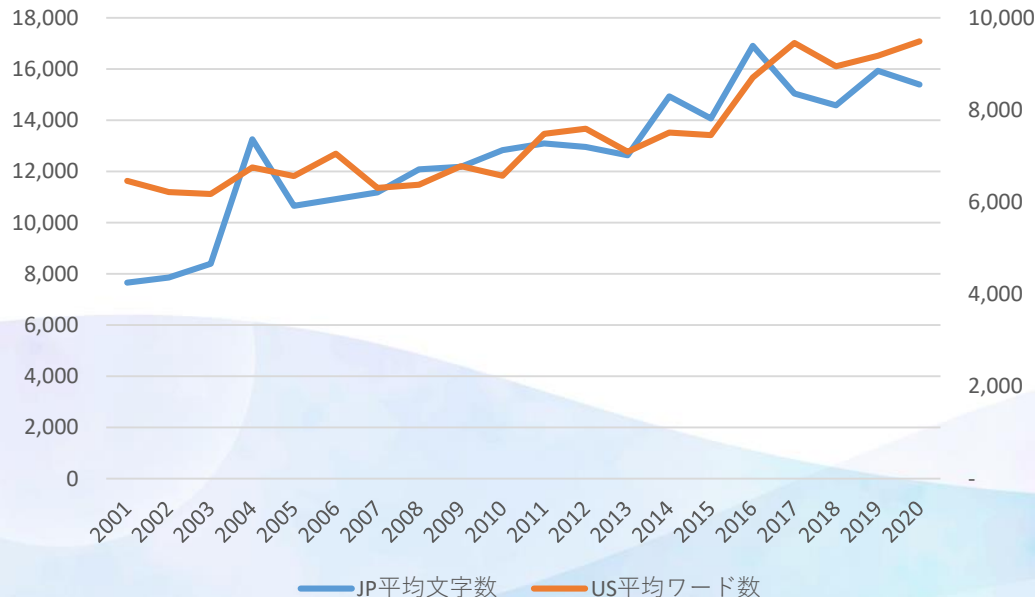
一般社団法人 日本翻訳連盟によれば、特許明細書の英文→和訳の翻訳料金は、英語1ワードあたり26円、特許明細書の和文→英訳の翻訳料金は、和文原稿の1文字あたり30円とのことです。(「翻訳料金の目安」<https://www.jtf.jp/tips/price> を参照)

下の図は、明細書の平均文字数・平均ワード数を文献の公開年ごとに集計した結果です。日本への出願も米国への出願も、明細書の文字数・ワード数が増加傾向にあります。近年(2016-2020)、米国特許文献の明細書は平均9200ワード程度、日本特許文献の明細書は平均1万6千文字で構成されており(Japio知財AI研究センター調べ)、英文→和訳は1文献あたり約24万円、和文→英訳は約48万円と特許明細書の人手による翻訳は高額になります。また、人手翻訳は、翻訳作業以外にも、見積もり・発注・納品などのステップがあり、時間がかかります。

Japio-AI翻訳を活用することにより、翻訳コストおよび翻訳にかかる時間が大幅に削減されます。

平均文字数(JP文献)

平均ワード数(US文献)



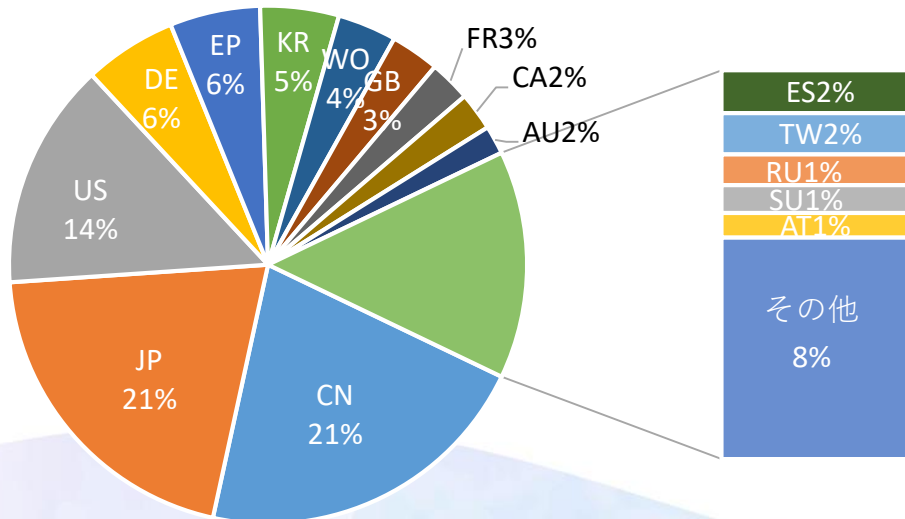
・横軸は文献の公開年
 ・各年で2000文献をランダムに抽出し、明細書の平均文字数又は平均ワード数をカウント

4. Japio-AI翻訳の強み

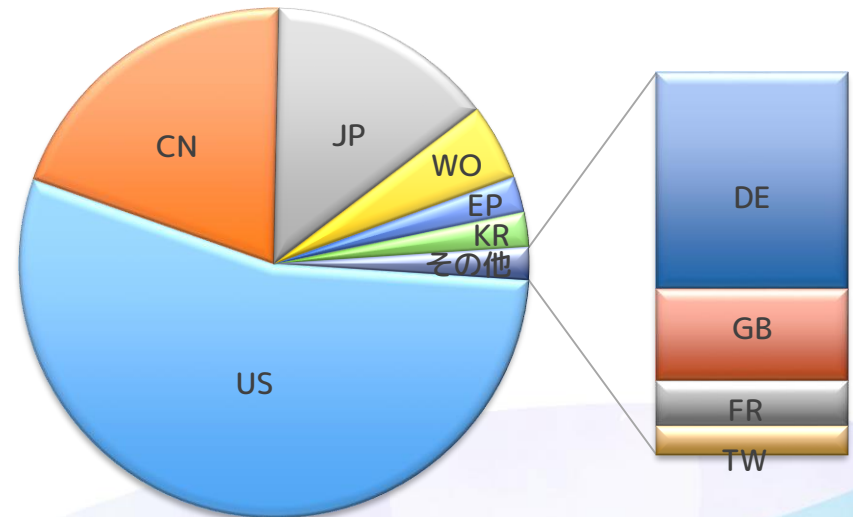
Japio-AI翻訳は、英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、フランス語、ロシア語、ドイツ語から日本語への機械翻訳が可能です。これは、世界の蓄積文献で用いられる言語の92%以上をカバーしています。また、過去10年間にIP5(日・米・欧・中・韓の知財庁)で引用された文献TOP10で用いられる言語のすべてをカバーしています。

また、上記「2. 日本国籍出願人の出願動向」で紹介したとおり、特許分野において、日本語から外国語への翻訳ニーズの高い、日本語から英語・中国語・韓国語への機械翻訳も可能です。

世界の蓄積文献比率



過去10年にIP5で引用された文献TOP10



※DocDBを基にJapioが集計。

なお、「引用」には、審査官引用の他、出願人が提示した文献も含む。また、全引用カテゴリー(X, Y, A...)を含む。